

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
立命館中学校・高等学校

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)201

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								4.2
Q1 室内環境								4.1
1 音環境				3.6	0.15			3.6
1.1 騒音				3.0	0.40			
1 室内騒音レベル				3.0	1.00			
2 防音壁対策								
1.2 遮音				4.2	0.40			
1 開口部遮音性能		遮音等級T-2以上		5.0	0.30			
2 界壁遮音性能		Dr-45以上 軽量鉄骨 PB12+12 GW充填程度相当		5.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20			
1.3 吸音		壁、天井の二面に吸音材を使用している		4.0	0.20			
2 温熱環境				3.9	0.35			3.9
2.1 室温制御				3.6	0.50			
1 室温		設備容量		4.0	0.60			
2 蓄熱蓄冷・蓄熱蓄冷性								
3 外皮性能				3.0	0.40			
4 ゾーン別制御性								
5 蓄熱・蓄冷設備								
6 断熱性能								
7 断熱性能に対する配慮								
2.2 湿度制御				3.0	0.20			
2.3 空調方式		輻射空調の採用、床吹き出し空調の採用		5.0	0.30			
3 光・視環境				4.4	0.25			4.4
3.1 昼光利用				4.6	0.30			
1 昼光率		2.5% ≤ [昼光率]		5.0	0.60			
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		ライトシェルフを設置		4.0	0.40			
3.2 グレア対策				4.0	0.30			
1 窓枠遮光対策								
2 昼光制御		カーテン、庇の2種類を組み合わせて制御		4.0	1.00			
3.3 照度		照度 500lx以上		4.0	0.15			
3.4 照明制御		スイッチによる点灯に加え、昼光センサーによる調光を行う		5.0	0.25			
4 空気環境				4.4	0.25			4.4
4.1 発生源対策				5.0	0.50			
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆を全面的に利用。		5.0	1.00			
2 放射能汚染物質								
3 放射能汚染物質								
4.2 換気				3.3	0.30			
1 換気量		25m ³ /h・人		4.0	0.33			
2 自然換気性能				3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33			
4 給気計画								
4.3 運用管理				4.5	0.20			
1 CO ₂ の監視		手動による測定		4.0	0.50			
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	0.50			
Q2 サービス性能				-	0.30			4.0
1 機能性				4.3	0.40			4.3
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40			
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画		バリアフリー基準		4.0	1.00			
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30			
1 広さ感・景観		直天 梁下2750mm		5.0	0.50			
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画		天井木ルーバー、ゴムチップ舗装、照明と内装の一体計画、3D検		5.0	0.50			
1.3 維持管理				4.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い内装仕上げ、水切りなど壁面が汚れない配慮・設計		4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		清掃用具入れ・SKの設置・廃棄物置場の確保・清掃作業用電源		4.0	0.50			
3 維持管理計画								
2 耐用性・信頼性				3.7	0.31			3.7
2.1 耐震・免震				3.8	0.48			
1 耐震性		重要度係数:1.25		4.0	0.80			
2 免震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.33			
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.23			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		20年以上(床:ビニル床シート、壁:軽鉄ボードEP、天井:ボード類)		5.0	0.09			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外ダクト材料考慮		5.0	0.08			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管、汚水配水管、消火管の耐用年数が30年以上		4.0	0.15			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23			

2.4 信頼性			4.4	0.19			
1	空調・換気設備	空調・換気システムの系統分け	5.0	0.20			
2	給排水・衛生設備	超節水型便器の設置 井水利用(井水80%、上水20%)	5.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法	Aクラス	4.0	0.20			
5	通信・情報設備	通信手段の多様化、地下の浸水の危険性なし	5.0	0.20			
3 対応性・更新性			4.1	0.29			4.1
3.1 空間のゆとり			3.8	0.31			
1	階高のゆとり		3.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	教室棟壁長さ比率0.06としたフリープラン	5.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり		教室棟床荷重3900N/㎡(教室部)	5.0	0.31			
3.3 設備の更新性			3.6	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性	床上配管	4.0	0.17			
3	電気配線の更新性	天井レスにつき、露出ケーブルラックルートを基本としている	5.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース	スペース考慮	4.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30			4.5
1 生物環境の保全と創出		屋上緑化	4.0	0.30			4.0
2 まちなみ・景観への配慮		長岡京市景観デザイン審査会 景観形成基準	5.0	0.40			5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.5	0.30			4.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	昇降口前ピロティ 埋蔵文化財遺構の記録案内設置	5.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上	敷地内の積極的な緑化・既存樹木の保存	4.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			4.3
LR1 エネルギー			-	0.40			4.5
1 建物の熱負荷抑制		PAL低減値≥15%	4.6	0.30			4.6
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20			3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用	トップライト・アトリウム自然換気・クールビット	5.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		太陽光パネル	5.0	0.30			5.0
3a	集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		5.0				
3b	集合住宅の評価						
4 効率的運用			5.0	0.20			5.0
4.1	モニタリング	中央監視	5.0	0.50			
4.2	運用管理体制	管理体制	5.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			4.1
1 水資源保護			3.8	0.15			3.8
1.1	節水	節水器具	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.6	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用	4.0	0.67			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			4.4	0.63			4.4
2.1	材料使用量の削減	RC造	4.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメント	5.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	インターロッキング、再生木デッキ	5.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材	針葉樹材の積極的採用	4.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が容易に分別可能 タイルカーペットなど	5.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22			3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用	建築塗装、ビニル床シート、錆止め、プライマー等	5.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30			4.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出量基準値以下	3.9	0.33			3.9
2 地域環境への配慮			4.1	0.33			4.1
2.1	大気汚染防止	排出濃度≤基準値×0.9	4.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善	地表面の積極的緑化	4.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.5	0.25			
1	雨水排水負荷低減	雨水貯留水槽	4.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制	汚水槽あり	4.0	0.25			
3	交通負荷抑制	自転車置場・駐車場の適切な確保・出入口まわりの計画	5.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制	ごみ量推計に基づいた分別可能なごみ置場の設置と回収計画	5.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			4.5	0.33			4.5
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			4.3	0.40			
1	騒音	機器設置する部屋での吸音・外壁の遮音対応	5.0	0.33			
2	振動	機器設置する部屋での防振対応	5.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害、日照障害の抑制			4.6	0.40			
1	風害の抑制	事前調査に基づく建物配置・卓越風に対する見付面積の低減	5.0	0.60			
2	砂塵の抑制	桜並木保存	5.0	0.20			
3	日照障害の抑制		3.0	0.20			
3.3 光害の抑制			5.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	上方光束の無い器具を使用	5.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	広告物照明は原則無し	5.0	0.30			